

令和2年度第2回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和2年9月29日（火）午後6時30分～午後7時30分

会場：墨田区役所庁舎12階121会議室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の事業実績報告及び総合評価について

3 その他

- (1) 子育て支援活動助成事業について

4 次回開催予定

5 閉会

配布資料

資料1

「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」令和元年度事業実績 平成27年度～令和元年度総合評価

資料2（表）

子育て支援活動助成事業チラシ 「子育て支援活動を実施する団体を応援します！」

資料2（裏）

子育て支援活動助成事業 令和2年度助成決定事業

出席者(敬称略)

○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）
松山 洋平（和泉短期大学准教授）
浅見 佳子（相模女子大学専任講師）
服部 榮（社会福祉法人雲柱社理事長）
星野 操（文花子育てひろば施設長）
押田 剛（主任児童委員）
会田 尚之（第一寺島小学校PTA会長）
鈴木 真由美（青少年委員協議会委員）
酒井 萌佳（マミーズエンジェル墨田みなみ保育園施設長）
賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）
長 加誉（区民公募委員）
横井 貴広（区民公募委員）
宮田 宏子（立花幼稚園長）
柿沼 広美（菊川小学校長）
渋谷 俊昌（両国中学校長）
山中 育恵（文花保育園長）

<欠席委員>

岡田 真（江東学園幼稚園長）
小川 政美（吾嬬立花中学校PTA会長）
甚野 永子（墨中地区青少年育成委員会委員長）
宮村 柚衣（ちゃのま保育園代表）
田中 千春（区民公募委員）
山岸 優子（区民公募委員）
米谷 亮比古（区民公募委員）

<傍聴者>

2名

○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、青木 剛（教育委員会事務局次長）、田村 俊彦（子育て支援課長）、高橋 義之（子育て政策課長）、高橋 淳一（子ども施設課長）、梅原 和恵（子育て支援総合センター館長）

開会

2 議題

「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の事業実績報告及び総合評価について

会長	次第「2 議題」の「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の事業実績報告及び総合評価について、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	(資料に基づいて説明)
会長	ただいまの事業実績報告について、ご意見・ご質問ありますか。
副会長	学童クラブの目標数についてですが、現在、保育園に入っている子どもの人数のうち、どのくらい学童クラブに入ると見込んでいますか。
事務局	現在、認可保育所の整備率が約60%、ニーズ調査でもほぼ60%ということで、保育ニーズはそのくらいと捉えています。学童クラブの現在の整備率は42%で保育よりも低いですが、今までの受入と申請の実績数から、40%弱くらいのニーズがあると推定しています。ニーズ調査においても、ほぼ同じくらいの数値が出ていますので、保育所に入っているお子さんが全て必ず学童クラブに行かなければならない状況ではありません。自立も進んでいきますし、習い事や児童館のニーズもありますので、保育所の利用者数と学童クラブの利用者数が同数とはならず、若干の差が生じています。
副会長	待機児童は増えていますので、ニーズとして本当は入りたい人もいるのではないのでしょうか。
事務局	前計画(子ども・子育て支援事業計画)では、38%から40%の間の学童クラブの整備を目標としてきましたが、これまでの待機の発生状況を考慮しまして、現在の計画では42%まで増やすことを目標としております。また、学童クラブだけではなく、児童館や放課後子ども教室を活用していただいて、放課後対策全般を教育委員会とも協議しながら拡充していかなければならないという問題意識を持っております。
副会長	学童クラブは狭いので、学校に行っている子どもが利用すると密になる恐れがあると思います。放課後に行く場所がない子どものために思ったら、いろんな選択肢があるという発想で考えていただければ良いと思います。
事務局	学童クラブは狭いところも多く、コロナ禍の中でその対策にも非常に苦慮したところではありますが、今後、学童に限らず様々な居場所を確保して、環境も併せて整えていきたいと考えています。
会長	学童クラブは確かに狭いところもありますし、施設の老朽化も課題になってくると思います。一方で小学校の校庭開放や放課後子ども教室のような取組もありますので、全体としてのバランスをみていく必要があるのかなと思います。待機児童も出ていますが、実際には定員枠がかなり空いているところもありまして、最近かなり保育所も作っていただいていますので、そのあたりも整理をしていく必要があるかと思います。
委員	放課後子ども教室について提案です。学童クラブは足りなくなってきました。親御さんが放課後子ども教室より預かり施設という考えが強くなってきていますので、一定の人と専門職を配置してやっていかないと中々ニーズに追いつかないと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局	放課後子ども教室は地域のボランティアの方々のお力をいただいて、その上で地域の中で子どもを育てるということをメインに実施していますので、今後も大事にしていかなければならないところと思っています。それに対して、墨田区は前事業計画の中で、学齢部会の提言にもございますが、児童館を中心として地域の核として子どもの安全を作るという形で作ってきましたので、これまでは児童館・学童クラブを第一にやってきたところです。ただ、その中で待機児童が増えてきている状況であり、感染症予防という面からもさらに環境の充実が求められていますので、今後、どのようにしたら地域の方々、児童館と行政も一緒に子ども達の居場所を確保できるかを検討させていただいて、皆様にご相談できればと思っています。
会長	計画に対する評価は、いわゆる事務事業評価ですので、何回やったとか何人増えたとかそういう形になり、本来、子ども達がどれだけ幸せで安心して暮らせるようになったか、安心して子育てできるような評価ができれば良いが、なかなか行政計画の中では難しいところもあります。この辺については、今後、研究させていただいて、実感ができるような評価ができるといいのかなと考えておりますので、事務局の方とご相談させていただきたいと思います。それでは、各事業については、全体として計画どおりに進んでいるということを確認させていただきました。今後、令和2年度以降についても、「墨田区子ども・子育て支援総合計画」に沿って、各事業を進めていただきたいと思います。

3 その他

会長	次第「3 その他」の「子育て支援活動助成事業について」、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
委員	広報はどのように行いましたか。
事務局	区のお知らせ、区のホームページ、子育てアプリ等において発信させていただきましたのと、子ども・子育て会議委員の皆様にも周知をお願いさせていただきました。まだまだ行き届いていない方もいらっしゃるかもしれませんので、2回目の事業実施の際には周知をさらに念入りにやりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
会長	事業が一定程度進みましたら、この会議にご報告いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。では、本件については、ご報告のとおりご承知おきください。 本日の議題は以上ですが、その他、何かありますか？
委員	来月くらいから保育園や学童の新しい募集が出ると思います。地域の親御さんから相談されることがありまして、コロナの関係でテレワークをやっている方が結構多くいらっしゃって、夫婦二人ともテレワークで点数は変わらないのでしょうかですとか、今後、恒久的にテレワークになった時に、自営業者と点数は変わらないのでしょうか、という質問がありまして、この辺の考え方はいかがでしょうか。
事務局	一部の企業では在宅勤務も定着してきたと認識しております。昨年度までの募集要項ですと、同じ勤務でも在宅の方は優先度が少し落ちる状況でした。この制度をそのまま今年度も継続しますと、影響の度合いが大きく、大きな混乱が予想されるのではないかと思います。現在、鋭意検討をしているところでして、10月30日の新しい募集要綱が出るときにはそういうことも踏まえた対応になるかと考えております。

事務局	学童についてですが、小学生になりますとそれなりに自立をしています。育成環境を欠くということを学童の受入要件とさせていただいていますので、親御さんがご家庭にいる在宅勤務の方と居宅外勤務の方とはこれまでどおり差を設けなければいけないと思っています。基本的には今までどおりの形で考えています。
委員	小学生は集団で遊ぶことが大切です。親の都合で入る入らないではなくて、子どもの成長を考えて、今、遊び場が奪われていますから、できるだけそういう場を活用していただきたいと思います。
事務局	育成環境をしっかりと考えまして、学童だけではなく、児童館の環境整備も含めまして考えさせていただきます。
副会長	学童の場合は学校がやっているわけですから、保育園とは少し話が違うかと思います。話は変わりますが、スウェーデンのコロナ対策の話を聞いたところ、中学校までは閉鎖しなかったそうです。小さい子たちは隔離してしまう方が害が大きいです。中学校まで閉鎖せず、子どもたちには何も起きなかった。墨田区の保育園では感染が広がっていないですよね。個人的な意見ですが、もう少し冷静に年齢別にこの病気は考えた方が良いと思います。世界中で流行っていて、10歳未満の死亡者はほとんどいません。現在、子どもの患者さんが千何人と報告されていますが、ご家族がかかっている二類感染症で入院しているが、元気で元気でゲームばかりやっていて困るという意見が入院病棟の先生から出ています。それを考えると子どもに関しては、インフルエンザ規模でいいのではと思います。ただ、墨田区のマンションで親御さんがテレワークしながら、赤ん坊を見るのは無理なので、そこは、ワークはワークでお願いしていいのではと思います。
委員	子育て支援活動助成事業について、6団体が助成されましたが、助成事業の内容はしっかりと確認していますか。
事務局	今回は、書類審査の中で収支計画等を見させていただいて、審査委員の方と議論して、この事業に適した経費、金額を助成対象とさせていただきました。
委員	事業の確認はしていないのでしょうか。
事務局	後日、各団体から実績報告を出していただきます。その中で、当初の申請どおりの事業を展開したかを確認させていただきます。
事務局	一点だけ周知をさせていただきます。例年、この時期、来年の保育園入園に向けた施設見学のシーズンとなっています。ただ、現在、コロナがまん延していますので、実際に施設を訪れての見学はお断りしています。そこで、公立の保育園につきましては、代わりに動画で園の様子をご覧いただけるように、本日、先行する4園につきましては、区の公式ユーチューブに配信しましたので、よろしければご覧ください。
会長	それでは、最後に私から1点挙げさせていただきます。先般、保育施設における新型コロナウイルス感染症のまん延や台風、水害等がありました。危機管理対策として、保育園運営のガイドラインについて、子ども・子育て会議の中で議題に取り上げて欲しいというご意見がありました。本件につきましても、現在、コロナまん延の真っ最中ですので、そういった状況も見ながら、またそれぞれの施設でも働き方が変わってきていたり、子育ての状況も変わってきていることもありますので、どのような形がこれからの新しい時代の子育ての在り方になるか、危機管理の視点で考えていく必要があるのではと思っています。そういった視点で皆様からご意見をいただいて、子ども・子育て会議で話をさせていただきたいと思っています。

	防災計画においても保育所で感染症があったときにということが掲載されてはいますが、それが今後さらに有効に機能するためにブラッシュアップしていく必要もあるかと思います。皆さんからのご意見をいただきたいと思いますので、何かありましたら事務局までご連絡をお願いします。
--	---

4 次回開催予定

会長	次回の開催予定を事務局からお願いします。
事務局	(次回の日程について報告)
会長	これをもちまして、令和2年度第2回「墨田区子ども・子育て会議」を閉会いたします。

閉会

以上